

News Release

2025 年 10 月 9 日

会社名 武田薬品工業株式会社
代表者 代表取締役社長 CEO クリストフ・ウェバー
(コード番号 4502 東証プライム市場)
報道関係問合せ先 ジャパンコミュニケーションズ
三浦 麻衣子 080-3202-5548
E-mail: maiko.miura@takeda.com

新型コロナウイルス感染症リスクの“今”を知る「コロナ情報館」の公開と市民公開講座開催について
ー大切な毎日のために、新型コロナウイルス感染症を理解し、備えるための最新情報



当社は、本日、2025 年 9 月 17 日(水)に公開した、今知っておきたい新型コロナウイルス感染症の最新情報をまとめた当社のウェブサイト「[コロナ情報館](#)」に、ご自身の重症化リスクを確認できる「[新型コロナウイルス感染症リスクチェックシート](#)」、予防接種を検討するにあたり、知りたいことを簡単にチェックし、主治医との相談に役立てることのできる「[新型コロナワクチン相談カード](#)」を新規コンテンツとして公開しましたので、お知らせします。また、当社は、2025 年 10 月 26 日(日)11～12 時に、高齢者や基礎疾患のある方へ、新型コロナウイルス感染症予防の意義・基本的な知識、医師への相談について、正しい情報を伝えるための市民公開講座をオンラインで開催しますので、併せてお知らせします。

2023 年 5 月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが 5 類感染症に移行し、感染対策の実施については、個人・事業者の判断が基本となりました。新型コロナウイルス感染症パンデミックは収束し、まん延防止のための行動制限は解除されたものの、新型コロナウイルス感染症は、今も暮らしのすぐそばにある感染症です。今もお、

新型コロナウイルス感染者の増加や、それに伴う死亡者も認められています。2024 年の 1 年間における新型コロナウイルス感染症による死亡者数は、インフルエンザによる死亡者数の 10 倍以上です¹。特に体力や免疫の機能が落ちやすい高齢者にとっては、油断できない「身近なリスク」の一つになりました。そこで当社は、新型コロナウイルス感染症の症状、感染・重症化のリスク、治療と治療費、発症と重症化を防ぐ健康習慣、ワクチンの最新情報などをまとめたウェブサイト「コロナ情報館」を 2025 年 9 月 17 日(水)に公開しました。

2025 年 10 月より、65 歳以上の方などを対象にワクチンの定期接種が始まったことを受けて、ご自身やご家族の健康管理に関心を持つ方にお役立ていただけるよう、重症化リスクを確認できる「新型コロナウイルス感染症リスクチェックシート」と予防接種を検討するにあたり、知りたいことを簡単にチェックし、主治医との相談に役立てることのできる「新型コロナワクチン相談カード」も、新規コンテンツとして公開しました。(ウェブサイト「コロナ情報館」へはこちらから)

また、2025 年 10 月 26 日(日)11～12 時に、市民公開講座をオンラインで開催します。概要は以下の通りです。

今からでも遅くない！新型コロナウイルス感染症と向き合う大切な話

～ 高齢者や基礎疾患のある方へ、最新の情報をわかりやすくお届けします ～

【開催日時】2025 年 10 月 26 日(日)11～12 時

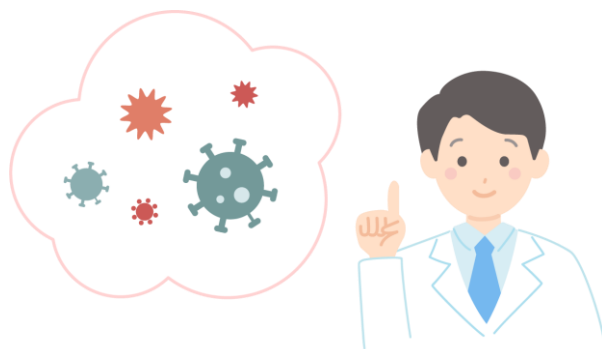
【開催方法】オンライン配信

【内容】

座長:松本哲哉 先生

国際医療福祉大学医学部感染症学講座 代表教授

国際医療福祉大学成田病院感染症制御部 部長



11 時～11 時半 演題①「かかりつけ医が伝えたい、コロナの今とこれから」

中浜医院 院長 中浜力 先生

11 時半～12 時 演題②「重症化を防ぐために知っておきたいコロナの話」

聖マリアンナ医科大学 感染症学講座 教授 國島広之 先生

【参加方法】

開催日時になりましたら、下記の URL にアクセスしてください(事前登録は不要です)。

<http://takeda.info/corona-seminar4>

当社は、新型コロナウイルス感染症の重症化や発症予防に対する取り組みを継続し、最新情報を必要とされる方の元へ適切な情報をお届けすることで、ご自身とご家族の健康と大切な毎日を守るための一助となることを目指し、日本の公衆衛生の向上に貢献してまいります。

<武田薬品について>

武田薬品工業株式会社(TSE: 4502/NYSE: TAK)は、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献することを目指しています。消化器系・炎症性疾患、希少疾患、血漿分画製剤、オンコロジー(がん)、ニューロサイエンス(神経精神疾患)、ワクチンといった主要な疾患領域および事業分野において、革新的な医薬品の創出

に向けて取り組んでいます。パートナーとともに、強固かつ多様なパイプラインを構築することで新たな治療選択肢をお届けし、患者さんの生活の質の向上に貢献できるよう活動しています。武田薬品は、日本に本社を置き、自らの企業理念に基づき患者さんを中心に考えるというバリュー（価値観）を根幹とする、研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニーです。2 世紀以上にわたり形作られてきた価値観に基づき、社会における存在意義（パーパス）を果たすため、約 80 の国と地域で活動しています。詳細については <https://www.takeda.com/jp/> をご覧ください。

<重要な注意事項>

本注意事項において、「ニュースリリース」とは、本ニュースリリースに関して武田薬品工業株式会社（以下、「武田薬品」）によって説明又は配布された本書類並びに一切の口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本ニュースリリース（それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます）は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本ニュースリリースにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法の登録又は登録免除の要件に基づいて行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本ニュースリリースは、（投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく）情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で（受領者に対して提供される追加情報と共に）提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性があります。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本ニュースリリースにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社（we、us 及び our）」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあります。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあります。

<将来に関する見通し情報>

本ニュースリリース及び本ニュースリリースに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む武田薬品の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする（targets）」、「計画する（plans）」、「信じる（believes）」、「望む（hopes）」、「継続する（continues）」、「期待する（expects）」、「めざす（aims）」、「意図する（intends）」、「確実にする（ensures）」、「だろう（will）」、「かもしれない（may）」、「すべきであろう（should）」、「であろう（would）」、「かもしれない（could）」、「予想される（anticipates）」、「見込む（estimates）」、「予想する（projects）」、「予測する（forecasts）」、「見通し（outlook）」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の結果は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の結果とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件並びに国際貿易関係に関する状況を含む武田薬品のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、税金、関税その他の貿易関連規則を含む関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品及び既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機、温室効果ガス排出量の削減又はその他環境目標の達成を可能にする武田薬品の環境・サステナビリティに対する取り組みの成功、人工知能（AI）を含むデジタル技術の統合をはじめとする、業務効率化、生産性向上又はコスト削減に向けた武田薬品の取り組み、その他の事業再編に向けた取り組みが、期待されるベネフィットに寄与する程度、武田薬品のウェブサイト (<https://www.takeda.com/jp/investors/sec-filings-and-security-reports/>) 又は www.sec.gov において閲覧可能な米国証券取引委員会に提出した Form 20-F による最新の年次報告書並びに武田薬品の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則

により要請される場合を除き、本ニュースリリースに含まれる、又は武田薬品が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本ニュースリリースにおける武田薬品の経営結果及び情報は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

以上

1. 厚生労働省 令和 6 年(2024)人口動態統計月報年計(概数)の概況 第 6 表 死亡数・死亡率(人口 10 万対), 死因簡単分類別